

市民生活部

(単位：円)

オリンピック・パラリンピックプロジェクトチーム		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費	56～57	
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		ホストタウン交流事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4, 503, 000		4, 137, 092		0		365, 908		91. 9% .	—
1 事業目的		2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ミャンマー連邦共和国のホストタウンとして、事前トレーニングキャンプの誘致をはじめ、各種講座等を開催し、ミャンマーとの人的・文化的な相互交流を図る。							
2 事業内容		(1) 交流事業一覧 ア 学校給食を通じたミャンマー風料理の提供及び児童と留学生の交流事業 開催日：平成29年10月17日 イ ミャンマー視察団受入(児童との交流事業、食文化交流事業、事前トレーニングキャンプに関する協定締結、市民等との交流事業) 開催日：平成29年10月23日～26日 ウ パラバドミントン小倉理恵氏講演会 開催日：平成30年2月10日 エ ミャンマー料理教室 開催日：平成30年2月24日 オ 食文化交流事業 開催日：平成30年3月10日 (2) ミャンマーホストタウン応援店 ミャンマー産の食材を使用した商品や料理などを提供する飲食事業者について、「ミャンマーホストタウン応援店」として登録して支援することで、食文化をとoshした相互交流及びホストタウンのPRを推進した。							
3 成果		・ミャンマーを身近に感じられる交流イベントなどの開催により、市民や地域レベルでの相互交流を促進し、オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成につながった。 ・平成31年度に予定している事前トレーニングキャンプに関する協定を締結することができた。							

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		地域支え合い推進事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率	
12,500,000	11,683,357	0		816,643	93.5%	—	
1	事業目的	地域住民が、自治会・NPO法人等の市民活動団体・企業等との連携により、日常の暮らしの中で共に支え合い、助け合いながら、地域の課題を地域で解決できる仕組みをつくる。					
2	事業内容	(1) 地域支え合い協議会の運営支援 運営費・事業費の補助や活動提案などにより、地域支え合い協議会の運営を支援した。 ア 特定非営利活動法人 鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 イ 富士見地区地域支え合い協議会 ウ サザン地域支え合い協議会 エ 杉下地域支え合い協議会 オ 西部地域支え合い協議会 カ つるがしま中央地域支え合い協議会 キ 北地域支え合い協議会 (2) 放課後子ども教室の運営支援 運営費の補助や活動提案などにより、地域支え合い協議会が実施する放課後子ども教室の運営を支援した。 ア 特定非営利活動法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会 イ 富士見地区地域支え合い協議会 ウ サザン地域支え合い協議会 エ 杉下地域支え合い協議会 オ 西部地域支え合い協議会 (3) 地域支え合い協議会の設立支援 地域支え合い協議会の未設置地区への啓発や必要な初期経費の補助により、地域支え合い協議会の設立を支援した。 ア 北地域支え合い協議会					
3	成果	・地域住民が主体となって、助け合い隊、高齢者の見守り、子育て支援事業、防災などの取組を行った。 ・平成29年7月には、下新田の一部と羽折町地区に北地域支え合い協議会が設立され、地域住民による支えあいの輪が市内7地区にまで広がりを見せた。					

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		コミュニティ活動推進事業		
予算現額		支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率
35,127,000		34,095,066	0	1,031,934		97.1%	—
1 事業目的		地域住民がまちづくりに参加できる環境をつくることによって、地域の力を高め合い、地域の特徴にあったコミュニティの輪が広がるまちにする。					
2 事業内容		(1) 鶴ヶ島市コミュニティ協議会との緊密な連携 鶴ヶ島市コミュニティ協議会を通じて、市内自治会長間での情報交換・連絡調整を図り、活発な自治会活動を支援した。 (2) 自治会の活動支援 運営費やコミュニティ施設の建設費・修繕費の補助、備品の貸与などにより、自治会の活動を支援するとともに、自治会への加入啓発を行った。 ア 鶴ヶ島市自治会補助金（世帯数に応じた運営費補助） イ コミュニティ施設特別整備事業補助金（施設建設・修繕） （ア）星和若葉台自治会館建替え事業補助金 （イ）高倉会館改修事業補助金 （ウ）三彩自治会館改修事業補助金 ウ コミュニティ施設冷暖房機器整備事業補助金 （ア）松ヶ丘自治会 （イ）白鶴自治会					
3 成果		・バリアフリーに配慮した自治会館の改修や修繕を行ったことで、高齢者も利用しやすい施設になり、自治会館を使用した会議やイベント等が活発に行われるようになった。					

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		市民センター地域活動支援事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		執行率	繰越除く執行率	
3,500,000	3,156,862	0	343,138		90.2%	—	
1 事業目的	多彩な人材に恵まれている本市の特性をまちづくりに活かすため、地域づくりの担い手の発掘・育成に向けた取組みや、市民・市民活動団体などの活動を支援し、連携・協働による地域づくりを推進する。						
2 事業内容	(1) プレーパーク活動へ補助金の交付 補助金交付団体：NPO法人 あそび計画 ア おちかくプレーパーク開催 開催日：平成29年7月～平成30年3月（全6回うち1回は雨天のため中止） 会 場：市内公園 イ プレーパークまつり 開催日：平成29年9月2日（土） 会 場：第8号藤金市民の森 ウ 大人のための学習会 開催日：平成30年3月3日（土） 会 場：西市民センター (2) アクティブシニアの社会参加支援事業 ア 地域デビューきっかけ広場の開催 開催日：平成29年9月10日（日） 会 場：市役所 イ 地域活動を促す講演会開催 （ア）「健康長寿のための12か条」講師 小林江里香 氏 開催日：平成29年9月10日（日） 会場：市役所 （イ）「人生100年時代を自分らしくくらせるまち」講師 後藤純 氏 開催日：平成30年1月30日（火） 会場：北市民センター （ウ）「豊かな人生を送るための居場所づくり」講師 澤岡詩野 氏 開催日：平成30年2月14日（水） 会場：市役所 ウ 地域活動団体を支援するための講座開催（コミュニティビジネス） 開催日：平成29年10月19日（木）26日（木）、11月2日（木） 全3回 講 師：永沢映 氏 エ 地域コーディネーター・シニアボランティア養成講座開催 委託先 鶴ヶ島市社会福祉協議会 開催日：平成29年9月～平成30年2月（全13講座開催）						
3 成果	・プレーパーク事業は、市内の各公園で開催され、子どもだけでなく保護者にも浸透している。また、プレーパークまつりでは、様々な団体が協働して事業を実施しており、延べ参加人数は548名であった。 ・「地域デビューきっかけ広場」は、33団体が参加し、参加者は200名（うち当日団体への入会者12名）。当日は参加団体の交流の場としても活発に情報交換が行われ、1団体がNPO法人化に向けた動きがあった。						

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		地域の交流・安心拠点整備事業（繰越明許費分）		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額		・ 執行率	繰越除く執行率	
87,833,000	87,833,000		0		100.0%	—	
1 事業目的		自治会、地域運営組織及び地域住民が交流・連携・相互補完して地域活力を活性化していくことを目的に、地域の拠点施設を整備する。					
2 事業内容		共栄連合自治会が管理する共栄第二会館の建て替えにあたり、つるがしま中央地域支え合い協議会の事務室や地域住民の交流スペースなどを複合化した地域活動拠点の整備に要する経費の補助を行った。 施設は、共栄連合自治会が建設・所有し、施設の運営及び維持管理を行う。 (1) 拠点施設の建設費支援 地方創生拠点整備交付金を活用して、「つるがしま中央交流センター」の建設費用の一部を補助した。 ア 共栄連合自治会事務所及び集会スペースの整備 イ つるがしま中央地域支え合い協議会事務所の設置スペースの整備 ウ 地域包括支援センターいちばんぼし事務所の設置スペースの整備 エ コミュニティレストランここほっとの設置スペースの整備					
3 成果		・ つるがしま中央交流センターを活用した地域のイベントや行政事業の実施、集会スペースの有料貸出しなど、新たな地域運営の仕組みを準備することができた。 ・ 複合施設として整備したことにより、この施設を拠点に様々な地域活動主体の交流と活力創出を推進することができた。					

(単位：円)

東市民センター		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費	68～69	
政策 4	人を育むまち		事業名		成人式開催事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
398,000		342,855		0		55,145		86.1%	—
1 事業目的		国民の祝日に関する法律（祝日法）において「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」と定めた成人の日に合わせて、鶴ヶ島市民が地域で祝う成人式を開催する。また、式典に併せて新成人及び地域の方々を中心に企画運営する『成人者のつどい』を開催し新成人の交流の場を提供する。							
2 事業内容		(1) 開催日 平成30年1月7日（日） 国民の祝日に関する法律（昭和二十三年七月二十日法律第百七十八号）で定める「成人の日」（一月第二月曜日）の前日の日曜日に開催。 (2) 主 催 鶴ヶ島市、鶴ヶ島市教育委員会 (3) 対象者 原則として市に住民登録があり、前年の4月2日からその年の4月1日に成人する人を式典参加の対象にする学齢方式を採用。 平成30年成人式の対象者は平成9年4月2日から平成10年4月1日生まれの人。 (4) 会場及び日程 ア 市民センターを会場とする。 会場 対象学区 北市民センター 鶴ヶ島中学校 西市民センター 西中学校 大橋市民センター 南中学校 南市民センター 藤中学校 富士見市民センター 富士見中学校 イ 実施時間（5会場同時開催） 式典 約20分 成人者のつどい 約1時間 ※成人者のつどい実行委員会に委託。 (5) 成人者のつどい実行委員会 ア 平成29年9月号の広報誌、ホームページにおいて募集。 イ 成人者のつどい実行委員会全体会議及び各会場の実行委員による企画会議を個別に開催。 実行委員会全体会議は10月、1月に開催。							
3 成 果		・平成30年成人式は対象者731人に対し出席者513人であり、出席率は70.2%となった。 対象者 男375人、女356人、計731人 出席者 男258人、女255人、計513人 （出席率70.2% ー前年71.4%ー） ・成人者のつどい実行委員として21名が参加されました。							

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		09	消防費	01	消防費	02	防災費	132～133	
政策 1	健やかで安心できるまち		事業名		防災訓練等実施事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
15,600,000		15,370,206		0		229,794		98.5%	—
1 事業目的		埼玉県と共催で第38回九都県市合同防災訓練を市内11会場で開催することにより、防災関係者相互の連携協力体制を充実・強化する。また、市民が自ら企画運営する訓練を行うことで、市民一人ひとりの防災知識や減災への備への向上に努める。							
2 事業内容		(1) 開催日時 平成29年8月27日(日) 9時から12時 ※防災フェアは9時から13時まで (2) 会場 ア 中央会場：市役所 イ 地域会場：富士見中学校 外10か所 (3) 主催、参加機関 ア 主 催：埼玉県、鶴ヶ島市 イ 後 援：内閣府 ウ 参加機関：147機関 (4) 主な訓練項目 ア 住民活動訓練 イ 救出救助訓練 ウ 災害時医療訓練 エ ライフライン復旧訓練 オ 緊急救援物資輸送訓練 カ シェイクアウト訓練 キ 災害ボランティアセンター開設・運営訓練							
3 成果		・ 防災関係機関相互の連携と協力体制の強化及び市民一人ひとりの防災意識の向上を図ることができた。 訓練参加総数 約8,000人 内訳 約3,500人(県職員、消防職員、警察官等訓練関係者) 約1,500人(市職員、住民等) 約3,000人(来場者)							

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		09	消防費	01	消防費	02	防災費	132～133	
政策 1	健やかで安心できるまち			事業名		防災行政無線デジタル化推進事業			
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
972,000		972,000		0		0		100.0%	—
1 事業目的		固定系防災行政無線は、機器の老朽化により運用に支障をきたす恐れがある。また、電波法の改正に伴い既存設備（アナログ方式）は平成34年11月をもって使用できなくなるため、デジタル方式への移行を図る。							
2 事業内容		災害時の緊急放送を市民に迅速に周知するため、防災行政無線のアナログ方式からデジタル方式への移行に向けた調査設計を実施した。 業務内容 （１）電波伝搬調査 市内に無線の電波が届くか調査。 （２）音達調査 音の届く範囲を計算し、エリアカバー率算出する調査。 （３）劣化度調査 既設子局設備５８局（スピーカーなど）の劣化度合を調査。 （４）設計図書、積算書、仕様書の作成。							
3 成果		・調査結果 （１）音達調査の結果から、デジタル方式に移行後、エリアカバー率が８７％から９２％に向上。 （２）スピーカーの出力を増大することにより難聴地域の解消が見込まれる。 ・設計図書、積算書、仕様書の作成							

(単位：円)

生活環境課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		04	衛生費	01	保健衛生費	05	環境衛生費	108～109
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		浄化槽設置整備推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,357,000		2,357,000	0		0		100.0%	—
1 事業目的		単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換することにより、水質の汚濁防止及び土壌汚染防止対策を推進し、河川の自然環境の保全と生活環境の保全を図る。						
2 事業内容		浄化槽整備区域内において、自己居住用の既存単独処理浄化槽及び汲取り便槽から、合併処理浄化槽に転換する者に補助金を交付。						
3 成果		・ 4名（4基）分で合計2,357,000円の補助金を交付した。 【内訳】 5人槽（1基あたり）542,000円 1基 5人槽（1基あたり）587,000円 2基 7人槽（1基あたり）641,000円 1基						

(単位：円)

生活環境課		一般会計							
		款		項		目		決算書頁	
		04	衛生費	01	保健衛生費	06	公害対策費	108～109	
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		公害対策事業				
予算現額		支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4,328,000		4,293,650		0		34,350		99.2%	—
1 事業目的		継続的に公害調査を実施するとともに、監視体制の充実を図り、公害を防止する。また、鳥獣被害に対応する。							
2 事業内容		(1) 公害調査の実施 ア 水質汚濁・地下水水質調査 イ 騒音・振動調査、自動車騒音常時監視調査 ウ ダイオキシン類環境調査 エ 臭気測定調査 (2) 公害対応、空き地管理指導 水路等への油流出事故、騒音、悪臭、野外焼却等の公害苦情に対する対応及び空き地の雑草繁茂等に対する所有者への指導を実施。 (3) 公害等届出事務 各法令に基づく届出の受理事務。 (4) 大気中の放射線量の測定、測定機器の整備 ア 庁舎敷地内及び市内公園等の大気中の放射線量を測定し公表。 イ 市民への空間線量簡易測定器の貸出及び機器の整備を実施。 (5) 有害鳥獣防除及び鳥獣事務 ア アライグマなどの有害鳥獣の防除に関する事務を実施。 イ ケガ等を負った鳥獣を保護し、県指定の獣医師へ搬送。							
3 成果		- 公害調査の継続的な実施により、現状の把握ができた。また、公害防止に有益であった。 - アライグマの被害相談には積極的にワナを貸与し、防除を行った結果、42頭が捕獲された。							

(単位：円)

生活環境課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		04	衛生費	02	清掃費	01	塵芥処理費	110～111
政策 3	快適に暮らせるまち		事業名		地域環境美化推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
4, 116, 000		3, 172, 532	0		943, 468		77. 1%	—
1 事業目的		良好な生活環境を保全し、ごみの少ない清潔なまちにする。						
2 事業内容		(1) 不法投棄防止対策 ア ごみの不法投棄防止の啓発看板の設置。 イ 市内重点箇所について、不法投棄監視パトロール業務を週 1 回実施。 ウ ごみ集積所における不法投棄物の回収及び運搬を実施。回収した不法投棄物の処理を実施。 (2) きれいなまちづくり運動の実施 ア コミュニティ協議会の協賛をいただき、年 2 回、春と秋に自治会や団体が参加し、市内の道路や公園など地域の一斉清掃を実施した。一斉清掃で搬出された可燃ごみ、不燃ごみ、道路側溝の汚泥を回収後、それぞれの処理施設に搬入し、処理を実施した。 (ア) 春期一斉清掃 実施日：平成 2 9 年 5 月 2 1 日 (日) (イ) 秋期一斉清掃 実施日：平成 2 9 年 1 1 月 1 9 日 (日) イ 毎月 1 回、自治会などが行う道路の側溝清掃で排出された汚泥を回収し処理を実施した。						
3 成果		・不法投棄防止対策の強化及び不法投棄された処理困難物等の処理を行い、環境美化に努めた。 ・市民・事業者・市の協働により、一斉清掃を実施し、良好な環境保持に努めた。 (1) 春期一斉清掃 (参加団体 8 9 団体) (2) 秋期一斉清掃 (参加団体 8 3 団体)						

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費	114～115
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		特産品づくり推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
2,590,000		2,144,294	0		445,706		82.8%	—
1 事業目的		「鶴ヶ島ブランド」となる地産品の開発等に対する支援を行い、市内で生産される農産物のPR、消費の拡大を図る。						
2 事業内容		(1) サフラン特産化の取り組み ア サフラン生産農家の育成・支援 (ア) 新規生産モデル農家への球根貸与 (イ) 球根定植、掘り上げからメシベ収穫までの生産に係る技術指導 (ウ) 年2回の土壌診断の実施 (エ) 生産農家で構成するサフラン研究会の開催 2回 イ サフランスタンプラリー2017の開催 開 催 日：平成29年7月14日（金）から9月19日（火）まで 参加店舗数：12店舗 ウ 「サフランフェスタ」の開催（産業まつり） 会 場：運動公園 開催日：平成29年11月12日（日） 内 容：花とメシベの摘み取り体験、サフランティーの試飲、サフラン資料の展示、サフラン染の展示・販売、メシベ、サフラン加工品販売 エ 「サフラン染体験教室」の開催 会 場：農業交流センター 開催日：①平成30年3月14日（水）綿ストール ②平成30年3月24日（土）綿手拭い オ 「サフラン通信」の発行：第10号（夏）、第11号（秋） (2) 茶小規模条件整備事業費補助金の助成 ア 埼玉県の茶・地域特産物振興総合対策事業に基づく茶小規模条件整備の対象となる事業を実施する事業者に対し、資材等の導入費用を支援した。 (ア) 茶小規模条件整備事業費補助金 (イ) 負担割合：県1／2、事業者1／2 (ウ) 事業内容 被覆資材の購入 16,200円×200本×1／2＝1,620,000円 (エ) 対象事業者 鶴ヶ島茶葉栽培組合						
3 成果		・サフランの生産説明会を開催した結果、新規モデル農家1戸が誕生した。また、普及活動として、サフランスタンプラリー、サフラン染体験教室及びサフランフェスタの開催、サフラン通信の発行等を行った結果、新規利用店が3店舗増加し、市民サポーターも4名増となった。 ・鶴ヶ島茶葉栽培組合に対し、20,000m²分の被覆資材（遮光ネット（50m×2m）を200本）の購入代金3,240,000円のうち、1／2を補助した。						

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費	114～115
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		新規就農支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
3, 000, 000		3, 000, 000	0		0		100. 0%	—
1 事業目的		鶴ヶ島市内において農業経営を始める意思と意欲のある新規就農者を育成・支援し、新たな農業の担い手を確保する。						
2 事業内容		(1) 青年就農給付金 ア 県、いるま野農業協同組合、農業委員会などの関係機関と連携を図り、新規就農支援を行った。 対象者（研修生）2人 イ 経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し青年就農給付金を支給することにより就農後の定着を図った。 鶴ヶ島市青年就農給付金 対象者2人（3, 000, 000円）						
3 成果		・研修中の新規就農希望者2名に青年就農給付金を交付し、経営の安定化を支援した。						

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費	118～119
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		産業活力振興事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率		繰越除く執行率	
2,380,000	2,379,808	0		192	100.0%		—	
1 事業目的	地域住民のコミュニケーションの場を創出し、市の産業を広くPRすることで、郷土意識・観光資源の醸成を図る。また各種イベントに参加することで、市の特産品・商品のPRを行うとともに、鶴ヶ島イメージキャラクター「つるゴン」を通じて市のプロモーションを行う。							
2 事業内容	(1) 第23回サマーカーニバル in 鶴ヶ島への補助金執行 ア 日時 平成29年7月15日(土) イ 場所 鶴ヶ島西口商店会通り (2) 鶴ヶ島産業観光まつり運営委員会への補助金執行 ア 鶴ヶ島桜まつり 第33回鶴ヶ島桜まつり (ア) 開催日 平成29年3月25日(土)～4月9日(日) (イ) イベント 平成29年4月1日(土) (出店は1・2日) (ウ) 会場 運動公園 イ 鶴ヶ島産業まつり 第32回鶴ヶ島産業まつり (ア) 開催日 平成29年11月11日(土)・12日(日) (イ) 会場 運動公園 (3) 観光PRイベント・展示への参加 ア 県内 9回(延べ38日) イ 県外 6回(延べ11日) (4) 鶴ヶ島イメージキャラクター「つるゴン」の活用 ア 各種イベントへの参加 イ ゆるキャラグランプリ2017への参加 平成29年8月1日～11月10日							
3 成果	・イベントの開催により、地域住民のコミュニケーションの場を創出するとともに、市内産業のPRなどによる地域経済の活性化を図った。また、市外開催の各種イベントへの参加や、鶴ヶ島イメージキャラクター「つるゴン」の活用、市の観光や特産品の積極的なPRを行い、シティプロモーションの推進を図った。							

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費	118～119
政策 1	健やかで安心できるまち		事業名		消費生活啓発・相談事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
6,448,000		5,781,587	0		666,413		89.7%	—
1 事業目的		安心して安全で豊かな消費生活を営むことができるまちづくりのために、消費生活に関する情報や知識の普及に努め、消費生活の向上を図るとともに、消費生活相談員を配置し、苦情処理体制の充実、強化を図る。						
2 事業内容		(1) 消費生活センター ア 相談日時 月～金曜日 9時30分～12時、13～15時（来所および電話相談） 土曜日 9時30分～12時（電話相談のみ） ・※年末年始、祝日を除く イ 弁護士相談(要予約) 開催日 毎月第4金曜日（原則） 13時～17時（相談時間30分） 申込み 毎月5日（土・日曜日、祝日の場合は翌開庁日） 9時30分から電話で受付 (2) 啓発品の作製 消費生活センター周知のマグネットを作製し、配布した。						
3 成果		・消費生活センターの運営、弁護士相談の実施、消費生活啓発講座の開催により、市民の消費生活の向上を図った。また、啓発品の配布などにより、消費生活に関する情報及び消費生活センターの周知を図った。						

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費	118～119
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		ふるさと振興発信事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
344,949,000		295,901,488	0		49,047,512		85.8%	—
1 事業目的		ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、市内産業の活性化やシティプロモーションを推進する。						
2 事業内容		(1) ふるさと納税の取り組み ア ふるさと納税制度を活用した寄附の受け入れ イ パートナー企業への発注・支払 ウ 新たなパートナー企業の発掘 エ ポータルサイトの活用やパートナー企業と連携したPR活動 鉄道模型コンテスト：江東区 8月5日（土）・6日（日）2日間 ふるさと納税大感謝祭：江東区 9月2日（土）・3日（日）2日間 ホビーセンターフェスティバル：新宿区 1月21日（日）1日間 オ ふるさと納税フェアの開催 開催日：9月30日（土）10月1日（日）2日間 会 場：ワカバウオーク パートナー企業出店数：13社 その他：鶴ヶ島中学校、西中学校吹奏楽部による演奏 市民活動推進センターにて、鉄道模型ジオラマの展示及び運転体験						
3 成 果		・パートナー企業と連携し、ふるさと納税返礼品の発送やPR活動を行った。 平成26～28年度までの3年間寄附受入額埼玉県内1位となっていたが、総務省通知に則り返礼割合を3割としたことなどから、寄附受入額は減少してしまった。						

(単位：円)

産業振興課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		07	商工費	01	・商工費	02	商工振興費	118～119
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		起業・創業支援事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
7,567,000		6,656,681	0		910,319		88.0%	—
1 事業目的		商工会などとの連携のもと、地域における起業者を支援することで開業率の向上、地域の活性化及び雇用の確保を図る。						
2 事業内容		(1) 創業支援事業計画に基づく創業塾の開催 鶴ヶ島市商工会に対し起業・創業支援事業（創業塾）補助金を交付し「創業塾」を行った。 ア 特定創業支援事業「つるがしま創業塾」の開催 全2日間4回開催 開催日 2月10日（土）、3月17日（土） 各午前・午後 (2) 「チャレンジショップ鶴ヶ島“つるカフェ”」の運営 ア つるカフェ概要 住所 鶴ヶ島市大字上広谷10番地6 面積 35.20㎡（10.65坪） 客席 15席 設備 シンク、ガスコンロ、冷蔵庫、食洗器、電子レンジ、炊飯器、食器類、無線LAN、プロジェクター など イ 経営支援 経営指導、メニュー開発、接客トレーニング、広告宣伝 など ウ 飲食店経営セミナー「初心者のための飲食店経営について」の開催						
3 成果		・「つるがしま創業塾」を4回開催し、7名が受講した。 ・「チャレンジショップ鶴ヶ島“つるカフェ”」において、創業希望者が経営実践を積み営業手法を学ぶとともに、専門家による経営支援やセミナーを行い創業を目指している方を支援した。						

(単位：円)

農業交流センター		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		06	農林水産業費	01	農業費	04	農業交流センター費	116～117
政策 2	活力に満ちたまち		事業名		水土里のふるさと推進事業			
予算現額		支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率
10,854,000		10,853,250	0		750		100.0%	—
1 事業目的		高倉地区に残る屋敷林や水辺、里山などの風景を市民共有の財産として保全・整備する団体が行う活動を支援する。また、国の交付金を受けて進めている、地域資源と福祉を活用した「農」の取組を支援する。						
2 事業内容		(1) 地域交流イベント等の開催 「高倉ふるさとづくりの会」との共同で菜の花まつり、ふるさとまつりを開催するとともに、先進地視察研修を行った。 (2) 多面的機能支払交付金事業の実施 地域の組織が事業計画及び活動計画を作成し、市と協定を結び実施した共同活動（草刈りや泥さらい、菜の花の景観整備事業など）に対して、地区内の面積（農振農用地）に応じて支援交付金を支払った。 事業対象：高倉ふるさとづくりの会 (3) 景観形成ボランティアの受け入れ 地域資源である農村風景、水辺、森などの維持・管理活動に市外から個人・団体・企業を呼び込む「レンジャーズプロジェクト」を2回実施した。 参加者：22人 (4) 農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組の支援 農林水産省の「農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流及び地域活性化対策）」の採択を受けた高倉ふるさとづくりの会に事業資金を貸し付けた。 取組内容 ア 障害者雇用における受入農家等のノウハウの取得等に係る取組 （ア）施設外就労や直接雇用を進めるための仕組み作り （イ）障害者を農業雇用するための制度等の情報収集と提案 （ウ）障害者を農業雇用するための体験プログラム等の試行 イ 障害者雇用を継続的に取り組むための受入体制の構築に係る取組 （ア）農福連携促進研修会 （イ）集落連合体の法人化に向けた取組 ウ 障害者支援団体等と連携した地域ブランド等の構築に係る取組 （ア）高倉地域を連想させる商品開発等 （イ）高倉地域における農業と福祉の連携の事業戦略等策定						
3 成果		・交流人口（イベント等の参加者・受入者の人数）が増加した。 想定交流人口650人／実際の交流人口689人						